

本会加盟団体 会長 殿

公益財団法人東京都体育協会

理事長 並木 一夫



令和2年度公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツ指導者等表彰候補者の推薦について（依頼）

平素より、本協会諸事業に格別のご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、標記の件につきまして、（公財）日本スポーツ協会より下記のとおり表彰候補者の推薦について依頼がありましたので、ご連絡申し上げます。

つきましては、貴団体所属の表彰候補者の推薦について、別添様式により6月19日（金）までに本協会スポーツ振興課までご提出いただきますようお願い申し上げます。なお、候補者の選定にあたっては表彰要項及び留意事項を必ずご確認くださいませようようお願い申し上げます。

また、表彰要項第2項第1号受賞者の表彰式は新型コロナウイルスの感染症拡大防止の観点などから、本年度は開催しないこととなりました。表彰記念品については、2021年2月初旬までに推薦団体宛てに送付いたしますので、受賞者への授与については各団体にてご対応いただけますようお願い申し上げます。

記

1 推薦書等提出先

（公財）東京都体育協会 事業部 スポーツ振興課

2 提出締切日

令和2年6月19日（金）必着

3 添付書類

- （1）公益財団法人日本スポーツ協会スポーツ指導者等表彰要項
- （2）受賞候補者推薦にあたっての留意事項【令和2（2020）年度】（※表彰の基準第1、4号に該当）
- （3）受賞候補者名簿作成に伴う注意事項
- （4）事務スケジュール
- （5）各種様式

様式1 受賞候補者推薦書

様式2 受賞候補者名簿〈1号用〉

様式3 受賞候補者経歴書〈1号「永年表彰」用〉

様式4 4号「退任感謝状」受領者名簿

様式5 退任感謝状受領者経歴書〈4号「退任感謝状」用〉

4 その他

- （1）各種様式は電子データでお渡しいたしますので、ご希望の団体は下記までご連絡ください。
- （2）候補者名簿の「主な功績（推薦理由）」は、表彰が決定した場合、表彰者名簿にそのまま掲載されますので、あらかじめ精査のうえご記入ください。

公益財団法人東京都体育協会 事業部 スポーツ振興課 小田島

〒150-8050 新宿区霞ヶ丘町4-2 Japan Sport Olympic Square 10F

TEL：03-6804-8121 FAX：03-6804-8263 Email：a-odajima@tokyo-sports.or.jp

公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツ指導者等表彰要項

1. 趣旨

永年にわたりスポーツ指導者として、スポーツの指導育成及び組織化、競技力の向上、公認スポーツ指導者制度の発展その他国民スポーツの振興に貢献した者のうち、特に顕著な功績があった者を表彰し、その功に報いるとともに、将来のスポーツ界を担う若手指導者の奨励を通じて、今後における公認スポーツ指導者制度の一層の発展に資する。

2. 表彰の基準

表彰の対象は、以下の各号の基準を満たす者とし、第1号から第4号までは公認スポーツ指導者とする。

(1) 永年表彰

公認スポーツ指導者資格登録認定後、通算15年以上にわたりスポーツの指導育成及び組織化等に尽力し、顕著な功績が認められ、原則として所属する中央・都道府県・市区町村の各競技団体若しくは都道府県・市区町村体育（スポーツ）協会、又は国・地方公共団体から表彰を受けた者。ただし、過去において本基準による表彰を受けたことがない者であること。

(2) 優秀選手育成賞

公認スポーツ指導者として、競技の普及や競技力の向上に尽力し、前年度に開催されたオリンピック競技大会、アジア競技大会又はこれに準じる国際大会において、優秀な成績をあげた選手を育成指導してきた者。ただし、過去において同一選手の成績に基づき本基準による表彰を受けたことがない者であること。

(3) 若手指導者奨励賞

受賞年度に満30歳以下の者のうち、今後、当該推薦団体において中心的な役割を担うことが期待される者。ただし、過去において本基準による表彰を受けたことがない者であること。

(4) 退任感謝状

おおむね15年以上にわたりスポーツの指導育成に貢献し、特に顕著な功績を残し退任した公認スポーツ指導者。

(5) 特別功労表彰

公認スポーツ指導者制度の確立及び発展などのために貢献し、顕著な功績があるとして本会が特に認めた者、並びに公認スポーツ指導者として特に模範となる功績を上げた者、と本会が特に認めた者。

3. 候補者の推薦

候補者の推薦は、次の各号により行うものとする。

- (1) 前項第1号に定める候補者については、加盟都道府県体育（スポーツ）協会及び加盟中央競技団体が、別に定める様式により推薦を行うものとする。この場合、都道府県体育（スポーツ）協会については、前年度公認スポーツ指導者登録者数500名まで1名、以下500名までを越えるごとに1名を増やした人数を、中央競技団体については、1団体3名以内を推薦することができる。
- (2) 前項第2号および第3号に定める候補者については、加盟中央競技団体が別に定める様式により推薦を行うものとする。
- (3) 前項第4号に定める候補者については、加盟団体が特に必要と認めた場合に推薦を行うものとする。
- (4) 前項第5号に定める候補者については、本会が直接推薦を行うものとする。

4. 被表彰者の決定

被表彰者は、本会会長が指導者育成委員会の審査を経て、決定するものとする。

ただし、前項第4号については、加盟団体長にその審査を委任することができる。

5. 表彰の方法

表彰の基準第1号、第2号、第4号、第5号については、本会会長が表彰状又は感謝状を授与する。

表彰の基準第3号については、本会指導者育成委員会委員長が表彰状を授与する。

6. 附則

この要項は平成7年5月16日から施行する。

この要項は平成11年3月8日から施行する。

この要項は平成19年8月22日から施行する。

この要項は公益財団法人日本体育協会の設立の登記の日（平成23年4月1日）から施行する。

この要項は平成27年9月24日から施行する。

この要項は平成30年4月1日から施行する。

この要項は令和元年6月21日から施行する。

公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツ指導者等表彰 受賞候補者推薦にあたっての留意事項【令和2(2020)年度】

1. 各号共通事項<第4号「退任感謝状」・第5号「特別功労表彰」を除く>

(1) 表彰対象者

表彰の対象となる公認スポーツ指導者は、スポーツリーダーを除くすべての公認スポーツ指導者資格保有者となります。

候補者が表彰の基準を満たしているかどうか、公認スポーツ指導者管理システム等でご確認いただき、判断に迷われた場合は当該指導者の氏名・登録番号等を日本スポーツ協会（以下「JSP0」という。）の下記アドレスへお知らせください。JSP0にて資格の認定状況等を確認しメール受信後1～2週間ほどで返答いたします。

メールアドレス：kenshukai@japan-sports.or.jp

(2) 各種推薦様式

「受賞候補者名簿」の作成にあたっては、別紙「受賞候補者名簿作成に伴う注意事項」記載の内容をご確認ください。また、「受賞候補者名簿」は、郵送での提出に加え、上記メールアドレスへのファイル送信もお願いいたします。

※ 受賞候補者経歴書の個人情報のお取り扱いについて

「受賞候補者経歴書」に記載された個人情報は、表彰基準の合致状況の確認や受賞候補者名簿作成を目的に利用し、氏名・資格名・主な功績等を記載した「公認スポーツ指導者等表彰候補者名簿」として、受賞者本人、表彰式出席者及び推薦団体へ配付する他、JSP0 ホームページに掲載いたします。

については、上記内容を受賞候補者本人にもご説明いただき、ご了解を得てくださいますようお願いいたします。

(3) 推薦後の流れ

9～10月開催のJSP0指導者育成委員会にて審査し、受賞者を決定後、推薦団体に決定通知を発送します。その際、受賞者名簿の記載内容の確認をお願いいたします。

なお、表彰記念品を、2021年1月下旬までに推薦団体宛に送付いたしますので、受賞者への授与については各団体にてご対応ください。

2. 表彰の基準 第1号「永年表彰」について 【提出期限：2020年7月31日(金)】

(1) 推薦団体：中央競技団体、都道府県体育・スポーツ協会

(2) 活動年数：

活動年数の起算日は初期登録日とし、初期登録日から表彰年度(2020年)の4月1日まで通算して 15年以上の活動年数が必要となります。手続き忘れや研修未受講による

登録保留期間も活動年数へ繰り入れ可能（復活登録者については無効期間の繰り入れを認めない）。

なお、受賞日(全国研修会開催日)時点で資格を失効している(する)場合は表彰対象となりません。

(3) 功績：

スポーツの指導育成における功績とは、永年にわたるスポーツ指導やスポーツ行事の企画運営にあたって当該市区町村、都道府県又は中央競技団体において中核的な役割を担ったとして評価されたものとします。

また、スポーツの組織化における功績とは、中央競技団体または都道府県等において、スポーツ指導者協議会あるいはスポーツクラブ、スポーツ団体の結成や組織の充実、発展に著しく貢献したことを指します。

(4) 表彰歴：

過去において競技団体（中央・都道府県・市区町村）や体育・スポーツ協会（都道府県・市区町村）、国および地方公共団体（都道府県・市区町村）から「スポーツの指導育成における功績」により、表彰を受けている必要があります。上記記載の団体以外からの表彰（JSP0からの表彰を含む）は対象となりませんのでご注意ください。

表彰歴があることが表彰の基準となりますので、各団体においては、表彰制度の整備、充実にご尽力いただくようお願いします。

スポーツドクターについては、スポーツドクターを対象とした表彰の整備状況を踏まえ、表彰歴がない場合でも例外として表彰の基準を満たすものとします。

3. 表彰の基準 第2号「優秀選手育成賞」について 【提出期限：2020年7月31日(金)】

(1) 推薦団体：中央競技団体

(2) 対象者：

当該選手が表彰対象となる成績を収めるに至った、過去から現在に至るすべての指導者（監督、コーチ、コンディショニング・メディカルスタッフ等）をグループとして表彰します。

■ある選手が成績を収めた際のグループの例（以下、全員を一括表彰）

- ・ 小学生の時に所属していたスポーツ少年団の指導者
- ・ 中学校の部活動の顧問
- ・ 高校の部活動の顧問・外部コーチ
- ・ 実業団の監督・コーチ・アスレティックトレーナー
- ・ 日本代表チームの監督・コーチ・アスレティックトレーナー・スポーツドクター・スポーツ栄養士

※ 当該選手を指導していた際に資格を未取得であっても、推薦年度の4月1日以前に資格の認定を受けている場合は、表彰の対象となります。なお、受賞日(全

国研修会開催日)時点で資格を失効している(する)場合は表彰対象となりません。

(3) 成績：

「前年度に開催されたオリンピック競技大会、アジア競技大会又はこれに準じる国際大会において…」とある、これに準じる国際大会および優秀な成績とは下記のとおりとなります。

大会名	成績
オリンピック競技大会	8位入賞
世界選手権	8位入賞
大陸別大会（アジア競技大会等）	3位入賞
ユースオリンピック	3位入賞
世代別世界選手権（ユニバーシアード等）	3位入賞
世代別・大陸別選手権	3位入賞

※ 同一選手の成績による繰り返しの表彰について

本基準の趣旨に鑑み、同一選手の成績による繰り返しの表彰は行いません。ただし、監督・コーチの変更等により、表彰対象となる指導者が、過去に当該選手の成績に基づき本基準による表彰を受けていない場合は表彰対象となります。

■例1：アジア競技大会での金メダル獲得で、競技開始からメダル獲得時点までに関わったすべての指導者が表彰を受けた後、2年後のオリンピック競技大会で金メダルを獲得した。

対応→アジア競技大会以降に変更があり、表彰を受けていないコーチやコンディショニング・メディカルスタッフ等のみ表彰の対象となります。

■例2：選手Aのコーチとしてオリンピック競技大会で8位入賞し表彰を受けた。4年後のオリンピック競技大会では別の選手のコーチとして金メダルを獲得した。

対応→別の選手の成績となるため、表彰の対象となります。

4. 表彰の基準 第3号「若手指導者奨励賞」について 【提出期限：2020年7月31日(金)】

(1) 推薦団体：中央競技団体

(2) 対象者：

受賞年度の4月1日時点で30歳以下の方が対象となり、受賞日時点で31歳の方も対象となります。

活動年数は問いませんが、推薦団体における公認スポーツ指導者としての活動実績が必要となります（推薦年度の4月1日以前に資格の認定を受けていること）。

なお、過去に本基準による表彰を受けている場合、また、受賞日(全国研修会開催日)時点で資格を失効している(する)場合は表彰対象となりません。

(3) 推薦団体・表彰基準詳細：

推薦団体	表彰基準	推薦人数
------	------	------

中央競技団体	日本代表チームスタッフ（監督、コーチ、コンディショニング・メディカルスタッフ等）として国際大会に参加した者 ※（対象となる大会は優秀選手育成賞の表を参照）	上限は設けない
--------	---	---------

5. 表彰の基準 第4号「退任感謝状」について 【提出期限：2021年3月18日（木）】

(1) 推薦団体：中央競技団体、都道府県体育・スポーツ協会

(2) 対象者：

15年以上にわたってスポーツの指導育成に貢献し、特に顕著な功績を残して引退される方、あるいは将来表彰の対象となるにたる顕著な功績を残されたにもかかわらず逝去された方を指しており、これらの方々に感謝状を贈呈するというものです。

本件については、その審査をJSP0加盟団体長に委ねることとしており、必要に応じて各加盟団体に感謝状をお送りし、所定の様式による実績報告を年度末に一括してJSP0へ提出いただくことになります。

(3) その他留意点：

過去に本要項の基準第1号、第2号、第3号の表彰を受けた指導者も、この感謝状贈呈の対象とすることが出来ます。

(4) 推薦の流れ：

年間を通して随時受け付けます。メールか郵送で「必要部数調査票」をJSP0に提出いただいた後、感謝状（氏名の記載はない）を送付いたしますので、推薦団体にて記名の上、対象者（逝去者は関係者）に授与していただきます。感謝状授与後、JSP0に感謝状贈呈者報告書の提出をお願いいたします。

6. 表彰の基準 5号「特別功労表彰」について

「公認スポーツ指導者制度の確立及び発展などのために貢献し、顕著な功績があるとして本会が特に認めた者」とは、具体的には永年にわたって指導者の育成のためにご尽力いただき顕著な功績があると認められる講師等を指しており、JSP0指導者育成委員会で推挙することとしています。

また、「公認スポーツ指導者として特に模範となる功績を上げた」とJSP0が特に認めた者」についても、JSP0指導者育成委員会で推挙することとしています。

いずれも、各加盟団体において顕著な功績が認められる受賞候補者がいる場合には、予めJSP0にご連絡いただければ、JSP0指導者育成委員会にて審議可能か確認いたします。

受賞候補者名簿作成に伴う注意事項

○候補者名簿のエクセルデータの書式は変更しないようご注意ください。

→日本スポーツ協会で候補者名簿の情報を取りまとめる際に候補者が 1 つのシートにまとまっていなかったり、候補者間に空白のセルが存在していたりすると、正常に取りまとめの作業が行えませんのでご協力の程お願いいたします。なお、対象者が用意されたセルよりも少ない場合、上から順番に記載していただき、空白セルの削除は不要です。

○表記の統一について

表彰者名簿作成の際に、表記の統一を行います。あらかじめ下記内容を確認の上、候補者名簿記載の表記の統一にご協力をお願いいたします。

- ・所属の都道府県や競技団体を記載する場合は都道府県や市区町村の記載をお願いいたします。

(悪い例) ○○氏は理事を務め、

(良い例) ○○氏は□□県△△協会の理事を務め、

- ・法人格は記載しないようお願いいたします。

(悪い例) 公益財団法人日本スポーツ協会

(良い例) 日本スポーツ協会

- ・大会名は正式名称で記載をお願いいたします。

(悪い例) 国体

(良い例) 第○○回国民体育大会 (□□県)

- ・旧資格名を使用する場合、現在の資格名も括弧書きで記載をお願いいたします。

(悪い例) C 級指導員

(良い例) C 級指導員 (現陸上競技コーチ 1)

- ・年号は西暦 (半角) で記載をお願いいたします。

(悪い例) 平成 29 年に○○として

(良い例) 2017 年に○○として

- ・長年ではなく永年との記載をお願いいたします。

(悪い例) ○○氏は長年○○県指導者協議会の運営に携わり、

(良い例) ○○氏は永年○○県指導者協議会の運営に携わり、

- ・尊敬語は使用しないようお願いいたします。

(悪い例) ○○氏は永年○○県指導者協議会の運営に携わっていただき、

(良い例) ○○氏は永年○○県指導者協議会の運営に携わり、

- ・受賞者名簿に記載するため、推薦するという言葉は使わない

(悪い例) その功績が大変優れているため推薦いたします。

(良い例) その功績は誠に顕著である。

- ・務めるは職務、資格に関する場合に使用し、努めるは功績に関する場合に使用する。

(例) ○○氏は△△県体育協会理事を務め、

- ・句読点で記載を行う

(悪い例) ○○氏は永年指導者の運営に携わり、その功績は誠に顕著である。

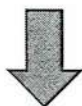
(良い例) ○○氏は永年指導者の運営に携わり、その功績は誠に顕著である。

令和2年度公認スポーツ指導者等表彰事業
《 事務スケジュール 》

令和2年(2020年)

6月初旬

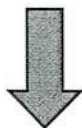
加盟団体へ推薦依頼文書送付(今回)



6月19日(金)

推薦書類 提出締切日

本会における表彰審査会を経て(公財)日本スポーツ協会への推薦となります。



9～10月頃

公益財団法人日本スポーツ協会より「決定通知」受諾



令和3年(2021年)

1月下旬以降

表彰記念品の授与(推薦団体へ送付予定)

番 年 月 号 日

公益財団東京都体育協会
理事長 並木 一夫 殿

団 体 名
会 長 印

公益財団法人日本スポーツ協会
公認スポーツ指導者等表彰受賞候補者推薦書

公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツ指導者等表彰要項第2項第1号に定める候補者の
条件を満たす_____名について、下記の必要書類を添えて推薦いたします。

記

- ・受賞候補者名簿
データは（ 月 日 発送）
- ・受賞候補者経歴書：_____部

事務担当者名：
役 職：
・電 話：
・Eメール：

受賞候補者名簿

通し番号	登録番号	受賞候補者氏名	主な功績(推薦理由) 各100～200字の間で記入	文字数
1				0
2				0
3				0
4				0
5				0
6				0
7				0

受賞候補者経歴書

(注)年号はすべて西暦でご記入下さい。

2020年4月1日現在

フリガナ 氏名 *旧字等を使用している 場合は正確に記入			性別
			生年月日(西暦で記入) 年 月 日生 (歳)*2020年4月1日現在の年齢
現住所	Tel		
公認スポーツ指導者 資格登録状況	登録番号(7桁で記載する)	資格名(競技名も記入) (記入例:水泳コーチ1)	
	有効期限(西暦で記入) 年 月		
	初期登録年月 年 月		
スポーツ関係団体 における役職歴	(記入例:1975年～1980年 ○○県水泳連盟 理事)		
都道府県スポーツ 指導者協議会に おける役職歴	(記入例:1980年～1982年 ○○県指導者協議会 理事長)		
スポーツの 指導歴及び 組織化活動歴	(記入例:1970年～地域における水泳指導、1971年●●市水泳連盟組織化)		
授与年 顕彰・表彰歴 表彰名 表彰母体名	授与年	表彰名	表彰母体名
特記事項			

<受賞候補者経歴書の個人情報取り扱いについて>

受賞候補者経歴書に記載された個人情報は、受賞者の審査および受賞者名簿作成を目的に利用し、氏名・資格名・主な功績を記載した「公認スポーツ指導者等表彰受賞者名簿」として、受賞者本人、表彰式出席者及び推薦団体へ配布する他、当協会ホームページに掲載いたします。

公益財団法人日本スポーツ協会 スポーツ指導者育成部

1号「永年表彰」用
受賞候補者経歴書

※指導者管理システムの登録情報と異なる場合は、システムを更新する。

登録番号は7桁で記載する
(例外) 下記資格保有者は例の通りに記載する。
サッカー資格 : 0+9桁数字 (例 0000000000)
バスケットボール資格 : 9桁数字 (例 0000000000)

【補足事項】
①2020年4月1日時点で資格が有効であるか。
⇒2020年4月1日時点で資格が保留・無効の場合は対象外
②2020年10月以降も資格が有効の対象者か
対象外例1)
資格有効期限 : 2020年9月
更新研修受講状況 : 2020年3月までに受講していない
⇒2020年10月以降「保留」となるため、対象外
対象外例2)
資格有効期限 : 2020年9月
更新研修受講状況 : 2020年3月までに受講している
2020年9月31日までに登録手続きを行わなかった
⇒2020年10月以降「保留」となるため、対象外

表彰歴の基準
【表彰内容】
・「スポーツ」の指導育成における表彰を受賞していること
・指導者協議会、スポーツ少年団、審判員に関する表彰などは対象外とする。
【表彰母体団体】
●対象となる団体
・競技団体 (中央、都道府県、市区町村)
・体育・スポーツ協会 (都道府県、市区町村)
・国および地方公共団体 (都道府県、市区町村)
●対象外となる団体
・上記以外の団体
・JSPD

(注) 年号はすべて西暦で記入下さい。		2020年4月1日現在	
フリガナ 氏名 ※旧姓を併記している場合は左側に記入	タイキヨウ ジョウ	性別	男性
氏名	体協 二郎	生年月日(西暦で記入)	1970 年 6 月 2 日生
住所	〒150-8050 東京都渋谷区神南1-1-1	(49 歳)※2020年4月1日現在の年齢	
登録番号(7桁で記載する)	03-3481-2226	資格名(競技名も記入)	資格1. アシスタント・マネージャー
登録番号(7桁で記載する)	0324843	資格2. 水泳コーチ1	
有効期限(西暦で記入)	2022 年 9 月	初年度登録年月	2011 年 10 月
公認スポーツ指導者 資格登録状況	2015年～1980年 ○○県水泳連盟 理事	2015年～2017年 東京都 ●●協会 事務局長	2017年～現在 日本 ●●連盟 指導者育成委員会 委員
スポーツ関係団体 における役職歴	都道府県スポーツ 指導者協議会に おける役職歴	都道府県スポーツ 指導者協議会 理事長	
スポーツの 指導歴及び 組織化活動歴	授与年 顕彰・表彰歴 表彰名 表彰母体名	授与年 顕彰・表彰歴 表彰名 表彰母体名	授与年 顕彰・表彰歴 表彰名 表彰母体名
授与年 顕彰・表彰歴 表彰名 表彰母体名	授与年 顕彰・表彰歴 表彰名 表彰母体名	授与年 顕彰・表彰歴 表彰名 表彰母体名	授与年 顕彰・表彰歴 表彰名 表彰母体名
授与年 顕彰・表彰歴 表彰名 表彰母体名	授与年 顕彰・表彰歴 表彰名 表彰母体名	授与年 顕彰・表彰歴 表彰名 表彰母体名	授与年 顕彰・表彰歴 表彰名 表彰母体名

＜受賞候補者経歴書の個人情報取り扱いについて＞
受賞候補者経歴書に記載された個人情報は、受賞者の審査および受賞者名簿作成のために利用し、氏名、資格名、主な功績を記載した「公認スポーツ指導者等表彰受賞者名簿」として、受賞者本人、表彰式出席者及び推薦団体へ配布する他、当協会ホームページに掲載いたします。

公益財団法人日本スポーツ協会 スポーツ指導者育成部

タブから選択する

①指導者管理システム記載の通りに記載する。
※2020年4月1日時点で有効な資格
②資格前の資格は記載しない
例) 水泳コーチ1⇒水泳コーチ2 昇格した場合、
要記載) 水泳コーチ2
記載不要) 水泳コーチ1
③複数資格保有している場合は、すべて記載する

【記載方法・補足事項】
①指導者管理システムの取得年月日2011-09-30を参照の上、記載例のとおりに記載する。
記載例)
2011-09-30⇒2011年10月1日
2012-03-31⇒2012年4月1日
②登録年数の確認
⇒資格登録期間が15年以上であること (2020年4月1日時点)
a) 2020年度推薦者は、初期登録日が「2005年4月1日」以前であること
※例で挙げたものは対象外であるが、記載例としている
b) 資格保留期間 (有効期限後半年～1年間) は、登録年数として繰り入れることができない。
c) 資格無効期間 (有効期限後半1年以上経過した期間) は、登録年数として繰り入れることができない。
⇒管理システムの「資格履歴」や「旧資格履歴」を確認する。
注) 指導者からの申告取得年月と現管理システムの取得年月日が異なることがある。
旧管理システムの情報が現管理システムに反映されていないこともあるため、相違がある場合は、JSPDに確認していただく。

4号「退任感謝状」受領者名簿

No.

通し番号	登録番号	受領者氏名	交付日	主 な 功 績(推薦理由) 各100～200字の間で記入	文字数
1			年 月 日		0
2			年 月 日		0
3			年 月 日		0
4			年 月 日		0
5			年 月 日		0
6			年 月 日		0
7			年 月 日		0

4号「退任感謝状」用

退任感謝状受領者経歴書

(注) 年号はすべて西暦でご記入下さい。

2020年4月1日現在

フリガナ 氏 名 *旧字等を使用している 場合は正確に記入	性 別 男 ・ 女	
連絡先	〒 Tel (- -)	
公認スポーツ指導者 資格登録状況	登録番号(7桁の番号)	資格名(競技名も記入)
スポーツの 指導歴 及び 組織化 活動歴	(記入例:1970年～地域における水泳指導、1971年●●市水泳連盟組織化) * 年 ～ 年	
スポーツ 関係団体 における 役職歴	(記入例:1975年～1980年 ○○県水泳連盟 理事)	
特記事項		

<感謝状受領者経歴書の個人情報の取り扱いについて>

表彰基準第4号用感謝状受領者経歴書に記載された個人情報は、指導者表彰事務でのみ利用し、他での利用や公表、第三者への提供はいたしません。

公益財団法人日本スポーツ協会 スポーツ指導者育成